「さが市議会だより」

第96号

さが市議会だより



「題字」佐賀北高等学校3年
平（たいら）　梨乃（りの）さん

筆圧の強弱で線に柔らかな表情を出しました。
かすれによって豪快な部分も取り入れてみました。



徐福サイクルロードの徐福像（諸富町）

令和8年9月定例会

2 | 令和8年9月定例会の概要
4 | 議案等質疑
5 | 常任委員会の審査報告
7 | 決算審査報告
10 | 「市政ここが聞きたい」
■一般質問に28人の議員が登壇
18 | 委員会活動リポート
19 | 議会トピックス

佐賀市議会

令和８年９月定例会の概要

会　　期　９月１日から９月29日まで
議決した案件　決算議案９件、補正予算案５件、条例案５件、その他９件、人事（同意）８件、人事（諮問）５件　合計41件
補正予算の総額　約18億5,422万円
（補正後の予算総額は約1,218億900万円。前年度同期に比べ、5.0％の増）

議案等の審議結果

議案番号	議案名	概要等	結果
64	令和７年度一般会計歳入歳出決算		認定
65	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算		
66	令和７年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算		
67	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		
68	令和７年度自動車運送事業会計決算		
69	令和７年度水道事業会計決算		
70	令和７年度工業用水道事業会計決算		
71	令和７年度下水道事業会計決算		
72	令和７年度富士大和温泉病院事業会計決算		
73	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	補正額　16 億 2,882 万円	可決
74	令和８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	補正額　1 億 9,507 万円	
75	令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	補正額　1 億 2,273 万円	
76	令和８年度下水道事業会計補正予算（第１号）		
77	印鑑の登録及び証明に関する条例の改正	出入国管理および難民認定法等の一部改正を踏まえ、氏名またはその一部等を片仮名で表した印鑑の登録ができる外国人住民の範囲拡大等の改正を行う	
78	認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の改正	地方自治法施行規則の一部改正に伴い、引用条項を変更する	
79	交通公園条例を廃止する条例	交通安全を取り巻く状況や交通安全教育の実施方法等が、交通公園を設置した昭和 45 年から大きく変わっていることを踏まえ、本施設を廃止する	
80	市税条例の改正	地方税法の一部改正等に伴い、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出対象者の見直しや、家屋および償却資産に係る固定資産税が免除される課税標準額の引き上げ等の改正を行う	
81	農業集落排水処理施設条例の改正	排水処理施設の統廃合による下水道事業の経営の効率化を図るため、蓮池地区農業集落排水処理施設に機能の集約を行う諸富北部地区農業集落排水処理施設を廃止する	
82	三神地区環境事務組合規約の変更	三養基郡町村議会議長会の名称が佐賀県東部町議会議長会に変更されたこと等に伴い、規約を変更する	
83	令和７年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分		
84	令和７年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分		
85	令和７年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		
86	市道路線の認定	出羽線ほか２本	
87	本庁舎（中棟）外壁改修外工事請負契約の締結	株式会社大洋建設	
88	文化会館発電機更新工事請負契約の締結	クラフティア・松尾工業特定建設工事共同企業体	
89	春日小学校屋内運動場長寿命化改良（建築）工事請負契約の締結	森永建設株式会社	
90	久保泉小学校管理特別教室棟長寿命化改良（建築）工事請負契約の締結	ＪＡ建設クリエイトさが・宮地建設特定建設工事共同企業体	
91	令和８年度一般会計補正予算（第４号）	補正額　2 億 2,540 万円	
92	教育委員会教育長の任命	丹宗 成一 氏	同意
93	教育委員会委員の任命	水川 恵 氏	
94～99	固定資産評価審査委員会委員の選任	江副 和子 氏、大串 俊三 氏、柿原 弘介 氏、藤﨑 三保子 氏、犬塚 敏治 氏、中島 秀樹 氏	
諮問４～８	人権擁護委員候補者の推薦	栗﨑 孝子 氏、福光 弘高 氏、木塚 壽子 氏、音成 光子 氏、平田 和也 氏	異議なし

水色で着色し、議案番号を〇で囲んだ議案等は、賛否が分かれたものです。P3 に詳細を掲載しています。

賛否が分かれた議案等の採決結果

賛成：○　反対：●　退席：退　欠席：欠

会派等	自民さが										自民市政会										ネットワーク佐賀					公明党				自民清流				市	共	S	参
氏　名	川副龍之介	宮崎　健	西岡　義広	江頭　弘美	千綿　正明	江原　新子	川﨑　健二	稲葉　嵩広	中尾　和幸	山口　弘展	諸冨八千代	黒田　利人	重田　音彦	永渕　史孝	藤井　英貴	岡山　香織	山崎　純	山田宏一郎	山田誠一郎	藤田　佳典	徳永　文子	草場　健次	江口由里子	村岡　卓	中島　妙子	野中　宣明	吉川　正剛	平原　嘉徳	重松　徹	西岡　真一	御厨　洋行	山下　明子	山本　愛	南里　朱美	山下　勝也
第64号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
第65号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
第67号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
第73号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
第79号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

市…市民共同、共…日本共産党、S…STEP-UP FOR SAGA、参…参政党
（松永幹哉議員は議長のため、採決に加わっていません。）

討論は動画配信でご覧ください。　討論とは、議案などの案件について、採決前に賛成または反対の立場から、その理由を述べて意見を表明することです。

○一般会計補正予算の主なもの

★は新規事業、☆は継続です。

総務部

★庁舎維持管理事業
（本庁舎1階南区画改修）　1650万円
・コンビニエンスストアを設置するための改修に要する経費



環境部

★地域新電力会社設立事業　2600万円
・官民共同出資で設立する地域新電力会社に対する出資金

教育部

★学校体育館スポットクーラー整備事業　1億9600万円
・市立小中学校体育館へのスポットクーラー設置に要する経費



債務負担行為とは
地方公共団体が数年度にわたる支払いを約束する契約を結ぶ等、将来の財政支出を約束する行為

こども未来部

☆児童クラブ運営経費　16億7128万円
（令和8～11年度 債務負担行為限度額）
・放課後児童クラブ（22校区）運営の民間委託に要する経費

教育部

☆学校給食運営経費　7億5770万円
（令和8～11年度 債務負担行為限度額）
・市立小中学校における給食調理等業務の一部民間委託に要する経費



佐賀市 HP
「令和８年度９月補正予算（案）の概要」
詳しくは、こちら➡

佐賀市 HP
「令和８年度９月追加補正予算（案）の概要」
詳しくは、こちら➡

議案等質疑

議案等質疑とは、議案等について、提出者（執行部）に不明点や疑問点を聞き、説明や所見を求めるものです。

補 庁舎維持管理事業（本庁舎1階南区画改修）

市役所本庁舎1階へのコンビニ設置、その効果は

Q 本庁舎1階南区画にコンビニエンスストアを設置するに至った経緯や、期待する効果は。

A 市役所Ｒｅ-デザイン２０２７の一環として、来庁者の利便性や職員の福利厚生の向上を図るとともに、市民が気軽に立ち寄り、休憩や交流ができる庁舎を目指して設置する。飲食物や日用品の購入のほか、公共料金の支払い、マルチコピー機、ＡＴＭなどの利用を想定している。

Q 近隣にコンビニがあることや、営業時間、店舗面積などの制約がある中で、出店事業者の意向をどのように確認しているのか。災害時における物資の確保や供給など、出店事業者との連携をどのように考えているのか。

A 複数の事業者への聞き取りでは、売場面積や営業時間に制約があっても一定の収益が見込め、公募への参加意向が示されている。また、災害時における商品供給や協力などについても、出店事業者の決定後に協議したい。

補 地域新電力会社設立事業

地域新電力会社設立のメリットとリスクは

Q 地域新電力会社を設立するメリットと、想定されるリスクや課題は。

A 清掃工場で発電した電力を地域内へ供給し、これまで市外に流出していた電気料金を地域内にとどめることで、エネルギーの地産地消や脱炭素化、地域内での資金循環などにつなげる。電力調達価格の高騰による収益圧迫が主なリスクであり、市場価格の変動を反映する料金設定などで影響を抑える。

Q 電源の確保や将来的な電力供給先をどのように考えているのか。

A 清掃工場のごみ発電を主力電源とし、不足分は卸電力市場から調達する。将来的には地域の再生可能エネルギーの活用や、民間事業者、一般家庭への供給も段階的に取り組みたい。



佐賀市清掃工場

条 交通公園条例の廃止

交通公園廃止後の交通安全教育は

Q 交通安全教育の場として利用されてきた交通公園を廃止する理由は。

A 道路交通環境や交通安全教育の在り方が変化し、現在は学校や保育施設などに出向く派遣型の交通安全教育が中心となっている。現在、交通公園では交通安全教育を目的とした団体利用が減少し、自転車の練習や遊びを目的とした利用が7割以上を占めている。施設の老朽化など総合的に勘案し、令和９年３月末で終了したい。

Q 廃止後はこれまで交通公園が担ってきた体験型・実践型の交通安全教育をどのように引き継いでいくのか。

A 今後は、学校や地域などへの派遣型を基本に、自転車シミュレーターやタブレット端末などを活用した体験型・参加型の交通安全教育を充実させていく。



昭和 45 年３月に完成した佐賀市交通公園

補 児童クラブ運営経費

全クラブの民間委託後は保育の質をどう確保するのか

Q 全ての放課後児童クラブを民間委託することで、比較対象である直営クラブがなくなるが、保育の質をどのように維持するのか。

A 支援スタッフの安定的な確保、待機児童の解消、クラブ運営の質の向上を図る。国の放課後児童クラブ運営指針や業務委託仕様書に基づき適切に評価するとともに、各クラブの特性や地域とのつながりを大切にし、委託後もこれまでの環境や特色を引き継ぐよう努めていく。

Q 現場の課題やトラブル対応など、運営状況が見えにくくなる懸念がある。現場の実態をどのように把握し、事業者の運営を評価していくのか。

A 受託事業者との定例会議で各クラブの出来事や保護者への対応などを情報共有するとともに、巡回指導員が各クラブに直接足を運び、現場の課題や実態を把握する。また、利用者アンケートなどにより意見や要望を把握し、市が運営主体として適切に管理運営するための、客観的な評価の仕組みも整えていく。

補 は「令和８年度補正予算」、条 は「条例」です。

常任委員会の審査報告①（決算以外）

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて審査を行っています。９月定例会での各委員会の主な審査内容を紹介します。

総務委員会

補 庁舎維持管理事業（本庁舎1階南区画改修）

〔質問〕**本庁舎1階を改修してコンビニエンスストアを設置するとのことだが、事業化に至った経緯は。**

〔答弁〕市役所をよりよく変えていくというプロジェクトの一環として、来庁者のさらなる利便性の向上について協議してきた。その中の具体案の一つとして、購入した食料品等を庁舎内で飲食できるほか、店内での証明書発行などの公共サービスを利用できるコンビニエンスストアを本庁舎1階に設置する案について検討してきた。こうしたサービスの提供により、市民が気軽に立ち寄り、利用しやすい市役所となることを目指している。

〔質問〕**購入した食料品や飲料は、イートインか市民ホールなどでの飲食のどちらを想定しているのか。**

〔答弁〕店舗スペースの都合でイートインの設置は難しいと思われるため、市民ホールを利用しての飲食を想定している。

〔質問〕**1階のごみ箱を増設するのか。**

〔答弁〕通常のコンビニエンスストアのように店舗側での設置を考えている。設置場所等は、事業者と協議していきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。



コンビニエンスストアの設置で、気軽に立ち寄れる市役所へ

委員会で審査した議案

- ●一般会計補正予算（第３号）（所管分）
- ●一般会計補正予算（第４号）（所管分）
- ●本庁舎（中棟）外壁改修外工事請負契約の締結

福祉生活委員会

条 交通公園条例を廃止する条例

〔質問〕**廃止を決定するまでにリニューアルも含めて検討を重ねてきたのか。**

〔答弁〕老朽化により倒壊の恐れがあった信号機を撤去する際に、信号機の新設など施設のリニューアルについても検討した。その際、交通安全教育を行っている学校や保育施設などへ交通公園の利用について意見等をうかがったところ、子どもを連れて行くのが大変、天気に左右されるなどの意見が出され、リニューアルしても集客が見込まれないと判断し、必要最小限の修繕を行った。その後も予算の計上や事業の見直しにおいて検討を重ねてきた。

〔質問〕**今後、派遣型に注力する中、高齢者や外国人向けなど交通安全教室の需要が増加すると考えるが、市として対応できるのか。**

〔答弁〕職員数や機材に限りはあるが、可能な限り要望に応えられるようにしていきたいと考えている。学校以外についても交通安全教室開催の要望があれば、こちらから出向く派遣型の教室を充実させていきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。



佐賀市交通公園

委員会で審査した議案

- ●一般会計補正予算（第３号）（所管分）
- ●国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
- ●後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
- ●印鑑の登録及び証明に関する条例の改正
- ●認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の改正
- ●交通公園条例を廃止する条例
- ●市税条例の改正

補 は「令和８年度補正予算」、条 は「条例」です。

常任委員会の審査報告②（決算以外）

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて審査を行っています。
９月定例会での各委員会の主な審査内容を紹介します。

教育環境委員会

補 学校体育館スポットクーラー整備事業

〔質問〕消費電力が少ない１００ボルトのスポットクーラーを複数台導入することは考えなかったのか。

〔答弁〕子どもたちの健康管理にとって、一気にクールダウンできる場所はかなり有効であり、できるだけ能力の高いものを導入したいと考えた。

〔質問〕体育館空調の整備後の活用方法は。

〔答弁〕緊急防災・減災事業債を充てており、法令上の耐用年数の期間内は一定の制限を受けることになると考えている。そのため、体育館空調を稼働するまでもない時期での活用や、体育館のミーティングルーム、ロビー等での活用を考えている。将来的には校舎内のエアコンがない部屋等での活用も考えたい。

〔質問〕競技等で体育館を使用する際の設置場所は。安全面の確保はどのように考えているのか。

〔答弁〕競技によって望ましい設置場所を学校と協議して決定したい。機械内部がむき出しにならないようにすることやコーナーガードの取付けを検討するなど、できる限り子どもたちの安全確保を考えたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。



導入計画と同規模のスポットクーラー視察の様子（佐賀商業高等学校）

委員会で審査した議案

- ●一般会計補正予算（第３号）（所管分）
- ●一般会計補正予算（第４号）（所管分）
- ●三神地区環境事務組合規約の変更
- ●春日小学校屋内運動場長寿命化改良（建築）工事請負契約の締結
- ●久保泉小学校管理特別教室棟長寿命化改良（建築）工事請負契約の締結

産業建設委員会

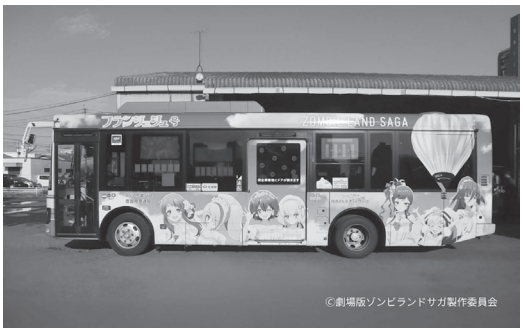
補 ゾンビランドサガと連携した観光消費促進事業

〔質問〕８月から始まったふるさと納税型クラウドファンディングの状況はどうか。

〔答弁〕ふるさと納税型クラウドファンディングは想定を上回る５００万円が集まっており、今後の事業活動に充てていきたい。

〔質問〕街なかシティドレッシング※1のエリアはどこまでを想定しているか。

〔答弁〕現在調整中ではあるが、ＳＡＧＡアリーナから駅の範囲を基本とし、それから広げていきたいと考えている。



ゾンビランドサガコラボ企画第１弾
ラッピングバス「フランシュシュ号」

文化会館発電機更新工事請負契約の締結について

〔質問〕応札が１者であるが、その理由は。

〔答弁〕一般競争入札としており、参加できる事業者は市内に24社ほどとなっていたが、工事の期間が長いなどの理由で、ほかの事業者は辞退されたのではないかと考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

委員会で審査した議案

- ●一般会計補正予算（第３号）（所管分）
- ●下水道事業会計補正予算（第１号）
- ●農業集落排水処理施設条例の改正
- ●水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ●工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ●下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ●市道路線の認定
- ●文化会館発電機更新工事請負契約の締結

※1　シティドレッシング……イベント開催時などに、駅や道路、公共施設などを装飾し街全体をひとつの演出された空間として飾り立てる（ドレスアップする）こと。

補は「令和８年度補正予算」、条は「条例」です。

令和７年度決算審査

市議会が市の決算をチェック！



令和７年度の決算議案が９月定例会に提出され、「歳入歳出決算書」や「主要な施策の成果を説明する書類」などの資料を基に、慎重に審査を行い賛成多数で認定しました。

常任委員会への付託

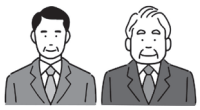
決算議案は４つの常任委員会において、それぞれの所管する事務について審査されます。各委員会の審査内容については、８、９頁をご覧ください。

決算審査の流れ



会計管理者が作成

決算書類
- 歳入歳出決算書
- 歳入歳出決算事項別明細書
- 実質収支に関する調書
- 財産に関する調書



監査委員が作成

歳入歳出決算審査意見書



市長が作成

主要な施策の成果を説明する書類

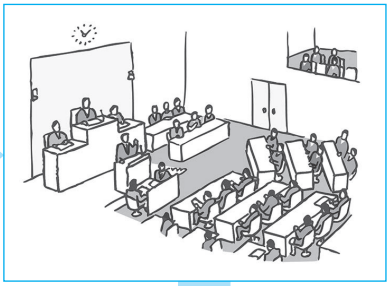
市長



提　出

市長が定例会に決算議案を提出し、説明

議会（本会議）



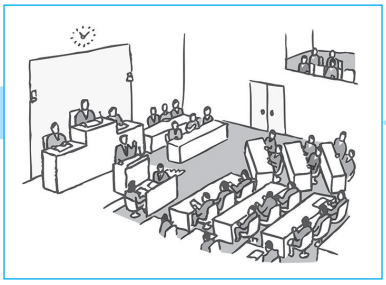
付託

４つの常任委員会で慎重に審査

総　　務	福祉生活
教育環境	産業建設

報　告

議会（本会議）



採　決

認　定

不認定

議会が決算を不認定とすることもできます。不認定でも決算の効力に影響を及ぼすものではありませんが、市長は政治的責任を負うことになります。（地方自治法第 233 条第７項）※2

※２　地方自治法第 233 条第 7 項…普通地方公共団体の長は、決算の認定に関する議案が否決された場合において、当該議決を踏まえて必要と認める措置を講じたときは、速やかに、当該措置の内容を議会に報告するとともに、これを公表しなければならない。

決算審査報告



総務委員会

定住促進事業

〔質問〕**現在の移住・定住施策では、受け身の待つ姿勢の印象があり、このままであれば、佐賀市への移住者数は伸びず、推移は変わらないと思えるが、どう考えているのか。**

〔答弁〕支援金だけを呼び水にして、移住を促進するのは難しい面があると捉えており、既に佐賀市に移住されている方に、何が必要なのか移住者目線の意見をきくワークショップ等を行った。移住者が移住者を呼び込む流れを目指し、支援金以外で移住者を呼び込めるような施策を考えている。

〔質問〕**移住希望者が起業したい場合の相談窓口はどこなのか。**

〔答弁〕移住とあわせて起業したいという相談があれば、まずは企画政策課で相談を受け、起業支援については経済部へ引き継ぐ形となる。佐賀市への移住について分かりやすく伝えるポータルサイトを作成し、その中に他部署の支援策なども入れながら、対応していきたい。

〔意見〕**定住促進は、プロジェクトチームをつくるなど本気で取り組むべきだと思う。佐賀市を知らない人でも、「起業をしたい」、「地域性や風土がよい」と思えるような、伴走型の相談窓口が必要ではないか。**

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



佐賀市を知らない人でも、
地域性や風土がよいと思えるように！

福祉生活委員会

富士大和温泉病院事業会計決算

〔質問〕**受診者数を増加させるためにしていることは何か。**

〔答弁〕健康講話などを通じて、病院の認知を広めている。また、新たな取り組みとして、例えば、睡眠時無呼吸症候群の可能性のある方などを抽出し、人間ドックなどの健診受診者の増加に繋げたいと考えている。

〔質問〕**令和7年度の決算では3億円ほどの赤字が出ている。赤字という結果だけで考えてはいけないと十分理解しているが、今後の経営方針をどのように考えているのか。**

〔答弁〕現在、一般病床を20床減らし、地域包括ケア病床を10床から30床へ増やす取り組みを検討している。当院の一般病床は、在院日数が24日以内となっている一方で、地域包括ケア病床は、60日以内となっており、一般病床よりも在院日数を長く確保でき、十分な診療を提供できることから、より健康な状態に回復してから退院していただくことができると考えている。在院日数が長くなることで、これまでより病床が埋まっている状態が続きやすいと考えており、病院としても収入が増加するため、患者にも病院にもメリットが生じるよう地域包括ケア病床を活用し、病床稼働率を上げることを第一の目標として取り組んでいきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



富士大和温泉病院



令和７年度

教育環境委員会

二十歳のつどい開催経費

〔質問〕ＳＡＧＡアリーナ会場内の動線は、どのようにして決定したのか。

〔答弁〕会場内の動線は、事業の受託者と協議して決定した。ＳＡＧＡアリーナでイベントを開催する際のスタンダードな使い方であった２階を入場口とした。式典前の時間を使って「お久しぶりタイム」という企画を１階のアリーナフロアで計画したが、振り袖で階段を降りるのは怖いため、アリーナフロアに降りていくことができず、アリーナの広さを存分に生かすことができなかったという課題が残った。今年度は１階を入場口とし、アリーナフロアで交流をしていただき、式が始まる直前に、観覧席に上がっていただく流れで、現在計画中である。



令和７年度佐賀市シン・二十歳のつどいの様子

グリーン産業推進経費

〔質問〕藻類の研究等に継続して経費が支出されているものの、藻類の情報を最近聞かないが、令和７年度の成果は。

〔答弁〕佐賀大学との連携事業で、微細藻類を商品化するまでの一連のプロジェクトに各学部の教授の方々が携わり研究していただいている。令和７年度は、微細藻類から人体の血圧上昇を抑制する効果がある新たな化学物質が発見された。現在は、それを特許化するための様々な審査への対応や商品化するための研究開発が続けられている。その他にも医療分野において、一般社団法人バイオサーキュラーエコノミー協議会を通じて支援をしているものとして、微細藻類から抽出した血清の代替物に関する研究を継続して行っている。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。

産業建設委員会

土地改良施設適正化事業

〔質問〕資材費や人件費が高騰する中、事業費も増加しており、土地改良区の運営にも影響が生じていると考えられる。一方で、組合員の負担となる賦課金を引き上げることも難しい状況にある。こうした土地改良区の運営上の課題について、どのように現状を把握し、対応していく考えか。

〔答弁〕土地改良区の運営については、話を聞き実際にどのような状況にあるのか確認を行った。しかし、それから年数が経過しているため、改めて11の土地改良区の状況を聴取し、より詳しく現状を把握したいと考えている。土地改良区は、それぞれ要望や抱えている問題が異なっており、それらを取りまとめることが難しい面もある。このため、まず各土地改良区から聴取した内容を、土地改良区連絡協議会の事務局に相談したいと考えている。

水草除去事業

〔質問〕毎年度水草の除去を繰り返すのではなく、完全に除去する方法はないのか。

〔答弁〕日本でナガエツルノゲイトウを完全に撲滅することは難しく、これ以上繁茂しないよう、いかに抑制するかが重要となる。水路の路線ごとに上流から少しずつ除去していく方法について、水草除去のプロジェクトチームの会議の中で検討を進めていきたいと考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。



繁茂の抑制が重要となるナガエツルノゲイトウ

「市政 ここが 聞きたい」 一般質問

一般質問とは　議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
質問内容　議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
発言時間　質問と答弁を合わせて、一人 60 分です。



1	山下 勝也 (参政党)	○学校給食の質と食育について ▶佐賀市学校教育ビジョンについて
2	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	○市の公園管理について ▶暑さ対策について
3	岡山 香織 (自民市政会)	○佐賀市文化会館の駐車場等について ▶佐賀市公式スーパーアプリについて ▶児童虐待防止および児童・生徒の孤独・孤立対策について
4	西岡 真一 (自民清流)	○ボランティア活動によるごみの処理について ▶災害時の避難について ▶公民館報のカラー化について
5	重松　徹 (自民清流)	○市内中小企業の経営課題に関するアンケート調査結果について ▶職場の熱中症対策について ▶スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ) による水稲被害について
6	山下 明子 (市民共同)	○佐賀市立図書館の大規模改修工事期間における図書館サービスの確保策について ▶暑さ対策について～ソフト面とハード面から ▶安心して利用できる放課後児童クラブへ ▶佐賀市平和展について
7	御厨 洋行 (自民清流)	○佐賀駅前交流広場について ▶子育てショートステイ「里親家庭」での受け入れについて
8	山本　愛 (日本共産党)	○市民の家計から見る暮らしの変化について ▶災害時における避難行動要支援者の避難支援について ▶終活支援の在り方について
9	藤井 英貴 (自民市政会)	○防犯ブザー(ＧＰＳ・通話機能付き)について ▶特定外来生物ナガエツルノゲイトウ等について
10	村岡　卓 (公明党)	○農家等の暑さ対策について ▶まちづくり自治基本条例について
11	吉川 正剛 (公明党)	○豪雨時の車両避難について ▶持続可能な自治会運営と地域コミュニティの在り方について
12	南里 朱美 (STEP-UP FOR SAGA)	○働く家庭を支える放課後児童クラブの利用環境について
13	野中 宣明 (公明党)	○バイオマス事業について
14	川﨑 健二 (自民さが)	○点字ブロックなど視覚障がい者への支援について ▶人権に関する市民意識調査について
15	江口 由里子 (ネットワーク佐賀)	○プレミアム付電子地域振興券について ▶おむつのサブスクについて
16	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○ｅスポーツについて ▶出会いの創出について
17	平原 嘉徳 (自民清流)	○将来を見据えた持続可能な佐賀市財政について ▶老朽化施設の対応について
18	川副 龍之介 (自民さが)	○バイオマス産業について ▶水稲について
19	山田 宏一郎 (自民市政会)	○中学校部活動の地域展開について ▶農地の集約化・大区画化について ▶龍造寺隆信について
20	中島 妙子 (公明党)	○高齢者が安心して暮らし続けるために ▶重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化について ▶就学前の子どもの安全な遊び場について
21	重田 音彦 (自民市政会)	○終戦記念日等のサイレンについて ▶佐賀市平和展について ▶市の今後の農政について ▶市が所有するグラウンドの管理について ▶市道の維持修繕について
22	諸冨 八千代 (自民市政会)	○松原公園整備について ▶市立図書館の大規模改修について ▶災害への備えについて
23	草場 健次 (ネットワーク佐賀)	○佐賀市の防災について
24	稲葉 嵩広 (自民さが)	○小学校の登下校時の熱中症対策について ▶中心市街地の成長を次の成長につなげる都市経営について
25	宮﨑　健 (自民さが)	○通所型サービスＣについて ▶適切な喫煙環境について
26	西岡 義広 (自民さが)	○今宿ポンプ場の整備について ▶近年の豪雨災害を踏まえた道路防災体制の強化について
27	山崎　純 (自民市政会)	○廃食用油リサイクル事業と次世代への環境教育について ▶不登校児童・生徒への対応について
28	徳永 文子 (ネットワーク佐賀)	○持続可能な地域公共交通の確保について ▶市民の命と健康を守るための体育館環境整備について

番号は質問順、（　）内は会派等、掲載は大項目のみです。○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

学校給食に金芽米の導入を！

1

（参政党）
山下 勝也（やました かつや）



問 学校給食の質と食育について①どのような栄養基準を設定しているか②児童生徒の栄養摂取実態は把握しているか③栄養価の高いお米「金芽米」[※3]を学校給食に選択する考えはあるか④外国人増加に伴い宗教上の理由などで食材制限の要望があった場合の対応は。

答 ①国が定める「学校給食摂取基準」を踏まえ、栄養バランスに配慮②献立ごとの残食量を調査し、栄養摂取状況を把握③金芽米の精米設備は県外にしかなく、輸送コストなどの課題がある。すでに金芽米を導入している自治体に対し、調達方法やコスト面の対応方法などを調査・研究したい④食べられない食材を除去する除去食など、可能な範囲で個別に対応。対応が難しい場合には保護者と相談の上、弁当を持参。児童生徒の事情を考慮し、安心して学校生活を送れるよう対応。



子どもたちの笑顔のために！
（写真はイメージ）

市民に愛される公園管理を！！

2

（ネットワーク佐賀）
山田 誠一郎（やまだ せいいちろう）



問 公園は、日常的に適切な維持管理を行い、市民が「使いたい」「また利用したい」と思える環境を継続的につくっていくことが重要である。①本市における公園管理の現状は②手持ち花火使用の社会実験について、経緯を含めた状況は。

答 ①公園の種類や利用状況などで管理方法が異なる。都市公園では日常的な管理を地元の自治会などに行ってもらい、専門性を要する樹木の剪定を造園業者に委託している。ベンチなどの公園施設は市が定期的に巡回・点検し、安全対策、修繕などを行っている。②市民からの要望が多く、令和6年度から社会実験を行っている。これまで大きな問題もなく、多くの市民に好評だった。次年度は市内全域を対象に協力・賛同いただける地域を募り、手持ち花火ができる公園を増やしたい。



きれいに整備された公園の遊具

文化会館駐車場の出庫をスムーズに

3

（自民市政会）
岡山 香織（おかやま かおり）



問 文化会館でのイベント開催時には、駐車場出庫時の混雑、送迎車やタクシーの乗降場所も不便で出入口の渋滞が目立つ。高齢者や子ども、体が不自由な方など利用する市民が安全・快適に利用できるよう①駐車場出庫のスムーズ化②動線③乗降場の改善を求める。

答 ①事前精算機の利用は出庫時間の短縮に有効であり、利用率を上げるため、来館者の目につきやすい場所への案内看板の増設や終演時のアナウンスを行うなど、事前精算のさらなる周知と利用促進に努めたい②東側駐車場の場合、西側出口の利用が多いため、駐車場内の案内表示により北側出口の利用を促し、周回道路への車の流入を減らすなど、混雑緩和の対策を行いたい③周回道路が混雑しているときにスムーズに乗降できる場所について、関係者と協議・検討していきたい。



スムーズに出庫できない
という声が多い

ゴミ出し、ボランティアへの配慮を

4

（自民清流）
西岡 真一（にしおか しんいち）



問 高齢者などからの依頼を受けて行う草取りや立ち木の剪定などのボランティアで発生したごみを清掃工場へ持ち込む場合、事業系ごみの料金がかかっていた。①現在の佐賀市の運用はどうなっているか②屋内の片付け等で出た不要な家具等はどうなるのか。

答 ①社会福祉協議会の確認を受け、あらかじめ市へボランティアの登録をする必要はあるが、通常は事業ごみの料金が必要なところ、令和8年7月1日から家庭ごみの料金の額まで減額する取り扱いとしている②廃棄物処理法では、他人のごみを誰でも自由に運搬することは認められておらず、本人や市の委託・許可を受けた事業者等が運搬する必要がある。ボランティアが片付けの支援をすることは可能だが、その後の処分は、市の粗大ごみ定期収集や臨時収集を利用していただきたい。



ボランティア活動範囲が
広がってきている

※3　金芽米…東洋ライス（株）独自の技術で、玄米の旨みや栄養が豊富な「亜湖粉層」と、胚芽の基底部（金芽）を残して精米したお米。

市内の中小企業等の経営課題を問う



(自民清流) 重松 徹(しげまつ とおる) 5

問 2025年度の市内中小企業小規模事業者の倒産・廃業の件数が約100件前後と非常に多く深刻な状況で、市としても倒産を未然に防ぐ対策が必要。今回、市が実施したアンケートの結果から市内中小企業小規模事業者のリアルな現状をどう受け止めているのか。

答 アンケートでは、人手不足やDX、事業承継、販路開拓、BCP※4などの問題が挙がった。また、業績が伸びている事業者と厳しい状況の事業者があり、経営環境の二極化がうかがえ、人材、資金、時間などの経営資源が限られているという共通の課題があると捉えている。市としては、補助金等による個別支援に加え、佐賀商工会議所等の支援機関と連携した伴走型支援の充実が重要と考える。支援が必要な事業者には、プッシュ型支援も活用しながら、きめ細かな支援に取り組みたい。



市内中小企業・小規模事業者製造工場

図書館休館中も本館機能維持を



(市民共同) 山下 明子(やました あきこ) 6

問 図書館は閲覧・貸出、情報発信・文化交流、市民の居場所として親しまれている。約2年の休館中も、手にとって読める場、貸し借り、読書相談など、自転車や徒歩で利用できる範囲に本館機能の維持を。広く市民の意見を聞きながら進めるべきでは。

答 休館期間中に利用したいサービスや、リニューアル後に期待するサービスに関するアンケートを図書館本館とeさがモニターで実施した。これは、図書館利用者に限らず広く市民の意見を伺うことを意図したものであり、現時点では追加実施の予定はない。まず、今回のアンケート結果を参考に、休館中のサービスや代替措置について検討したい。今後、新たに確認すべき事項や特定の方々の意見を伺う必要が生じた場合には、必要に応じて適切な方法で意見を伺いたい。



図書館は多様な市民の居場所
休館中も通える居場所を！

誰もが安心して過ごせる佐賀駅前へ



(自民清流) 御厨 洋行(みくりや ひろゆき) 7

問 ①夜間の巡回や防犯カメラなど、現在どのような防犯・見守り体制を取っているのか②ごみや吸い殻のポイ捨ての実態をどう把握し、対策しているのか③広場にごみ箱を一定期間設置し、ポイ捨て減少の効果や管理上の課題を検証する実証実験を行ってはどうか。

答 ①巡回・見守りは警察、警備会社、広場に隣接する事業者等と連携して対応。広場内に防犯カメラを4台設置し管理運用②駅周辺がにぎわうにつれ周辺道路のポイ捨てごみも増加する傾向。今後は関連データを活用し、より効果的な対策を検討する③ごみ箱は適切に管理されなければ、かえって環境美化を損なうことも懸念される。設置場所や回収体制、周辺への影響等を含めて慎重に検討する必要がある。まずは広場利用者の環境美化に対する意識を高めるための啓発に取り組みたい。



「ポイ捨て禁止」の看板前にもごみ。啓発だけでは限界

家計全体を見た生活支援を



(日本共産党) 山本 愛(やまもと あい) 8

問 行政には多くの部署があるが、市民の財布は1つである。何が家計を押し上げ、何が家計を下支えし、既存の支援を踏まえてもどのような負担が残るのか、こうした家計全体を見る視点を、市独自の生活支援策を検討する際の判断材料に取り入れる考えはないか。

答 生活支援策を検討する際、市民生活への影響を把握することは重要と認識しているが、個々の家計の状況を把握し、支援策に取り込むことは、実務上難しさがあると考えている。そのため、マクロ的な統計データを注視するとともに、子育て世帯等それぞれの世帯が置かれている状況、さらには窓口や現場に寄せられている相談等を、施策を検討する際の参考としている。今後も客観的な統計データと実態把握を組み合わせ、迅速かつ公正に支援を届けられるよう努めたい。



家計全体から暮らしを見る

※4 BCP（事業継続計画）…企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に、損害を最小限にとどめつつ事業継続や早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法などを取り決めておく計画。

子どもの命を守れ！新たな見守りへ



(自民市政会)
藤井 英貴（ふじい ひでき）

9

問 人通りの少ない通学路では、音だけの防犯ブザーや通過履歴だけでは十分とは言えない。子どもの命を最優先に守るため、地域による見守りに品川区で実績のあるGPS・通話機能付き端末など、最新のICT技術を柔軟に取り入れるべきではないか。

答 GPSによる位置情報の確認や緊急時に通話などができる機能を備えた端末は、子どもの安全を確保するための選択肢の一つと認識している。本市では、長年にわたり保護者や地域の皆さまの協力により、子どもを地域全体で見守る取り組みを積み重ねており、今後も他都市の取り組み等情報収集を行い、地域による見守りとICTをどのように組み合わせることが効果的なのかという視点も含め、子どもの命を守るために何ができるのか、引き続きさまざまな方策について考えていく。



児童見守りシステム
（品川区のまもるっち）

農家等を守る高温対策を強化せよ！



(公明党)
村岡 卓（むらおか たかし）

10

問 近年の夏の異常なまでの暑さは、農家等に多大な影響が出ている。①熱中症発症時に発見が遅れる等リスクの高い方へは重点的な周知が必要ではないか②今夏の高温少雨による影響をどのように把握しているか③今後は恒常的な高温対策を整備すべきではないか。

答 ①7月から、夏の熱中症等声かけ期間に関するチラシを窓口に設置し、農家への普及啓発に努めている。また、暑さを迎える前の4月に全農家に対して熱中症対策のチラシを配布し、早めの周知を行った②農作物への被害状況については、関係機関から情報を収集しており、今のところ大豆の発芽不良や果樹の樹勢低下が懸念される③近年の高温化については、農業従事者の労働環境の悪化や農作物の高温障害などが懸念されるため、関係機関と連携して支援が必要と考えている。



額に汗して収穫する農家

豪雨時の車両避難を市の備えに



(公明党)
吉川 正剛（よしかわ せいごう）

11

問 ①過去の豪雨の教訓をどう反映してきたか②地域・自治会と事業者の連携を基本とする理由は③市に仲介・支援を求めた事例は④県内自治体の取り組みの受け止めは⑤県協定の平時からの制度周知が必要では⑥市民ニーズ等を踏まえ車両避難のあり方を検討しては。

答 ①排水対策基本計画を策定し、浸水被害と都市機能への影響軽減を目指す②実情を把握する地域と駐車場を有する企業が連携し、避難場所の確保が重要③車両避難の内容を含む相談を地域からいただいた④車両集中による各種課題や避難場所の浸水リスクの検討が必要⑤県とパチンコ・パチスロ店協同組合との協定について9月初旬から市ホームページで公開⑥既存取り組みを継続していくとともに、公的施設等への車両避難も関係部署と協議しながら研究していきたい。



冠水前の車両避難が被害軽減に

児童クラブの利用環境整備を



(STEP-UP FOR SAGA)
南里 朱美（なんり あけみ）

12

問 ①6年生までの完全受け入れを最優先とする中でも、昼食提供に向けた準備や課題整理を並行して進めることはできないか②今後、どこを一つの区切りとして、長期休業中の昼食提供に向けた具体的な取り組みへ進めていく考えか。

答 ①昼食提供への対応は大きな課題と捉えており、これまで実施に向けて調査、研究を進めてきた。課題整理や実現に向けた検討には引き続き取り組んでいきたい②令和9年4月に全校区で6年生まで受け入れられるよう、支援スタッフの確保と実施場所の確保にスピードを上げて取り組んでいる。支援スタッフの確保については民間委託を進めており、クラブ運営における人材確保のめどがついたところで、できるだけ早期にニーズに応えられるよう、具体的な取り組みを行いたい。



長期休業中のお弁当に、注文という選択肢を

バイオマス事業「液化」を目指して



（公明党）
野中（のなか） 宣明（のぶあき） 13

問 清掃工場で回収した二酸化炭素は、配管から気体のまま農業用に供給されているが、季節や時間帯で偏りがある。液化できれば工業利用を組み合せることで供給の偏りを解消でき、かつ、運搬可能となり農業利用の拡大も期待できる。液化はいつ事業化するのか。

答 清掃工場で回収した二酸化炭素の利用範囲を広げるため、これまで液化について関連企業と技術面や法令面、事業採算性などを協議してきた。今年度は液化プラントの具体的な設計を進めつつ、設備条件や関係法令への対応などを整理している。現時点では具体的な稼働時期を示せる段階でないが、まずは設置場所や設備仕様を具体化し、事業費や事業採算性などを精査したうえで事業化の可否を判断する。そのうえで具体的なスケジュールを示せるよう、引き続き検討を進めていく。



清掃工場の二酸化炭素分離回収設備

点字ブロック等の充実を



（自民さが）
川﨑（かわさき） 健二（けんじ） 14

問 ①視覚障がい者数、白杖使用者数は②点字ブロックの破損・摩耗の把握と補修は③リニューアルする市立図書館の点字ブロックはどうなるか④コード化点字ブロック等、新技術の研究・活用をすべきでは⑤最終的には人の手・心が大切。市の考えは。

答 ①身体障害者手帳を持つ視覚障がい者は642人（令和8年3月末時点）。白杖の過去5年の支給実績は170件②日頃の道路パトロールや市民等の情報提供を基に不具合を早期発見し、必要な補修・更新を実施③当事者等の意見を伺い整備を進める④引き続き当事者団体等と意見交換し、新技術へのニーズや課題を把握したい⑤周囲の見守りや必要な場面での声かけなど人的支援も重要と考える。今後も視覚障がい者が安心して外出・移動できるよう必要な取り組みを進めていく。



コード化点字ブロック（しゃべる点字ブロック）の例

プレミアム付商品券の効果検証を！



（ネットワーク佐賀）
江口（えぐち） 由里子（ゆりこ） 15

問 第4弾利用期間が7月31日をもって終了。①購入者数、購入口数は②今後の検証スケジュールは③検証に際し、実績同様に経済効果の公表が望ましいと思うが、市の見解は④現時点で第4弾『がばいサカえーるPay』事業を本市はどう捉えているか。

答 ①購入者数は3万3308人。発行した18万口は完売した②利用者へのアンケートを7月、参加店舗へのアンケートを8月に実施。結果は年内をめどに取りまとめる③経済効果を実績と併せて分かりやすく知らせることは大事だと考えており、他都市の事例を参考に方法などを研究していきたい④地域振興券の利用を通じて相応の消費が生まれ、佐賀市内の地域経済の発展につながったと考える。今後、利用実績等を確認しながら経済効果などを検証していきたい。



プレミアム率30%の第4弾が実施されました

eスポーツを課題解決のツールに！



（ネットワーク佐賀）
藤田（ふじた） 佳典（よしのり） 16

問 eスポーツを課題解決の一助として①文化系地域クラブの選択肢の一つとして、eスポーツの位置付けは②依存を防ぐためのリテラシー教育は③若者が高齢者と共に笑い合う多世代交流の見解は④地域主体のまちづくりへの活用は。

答 ①今後、地域で指導体制を確立した運営団体が設立されれば、地域クラブとして展開される可能性がある②各学校で取り組んでおり、インターネットの適切な利用や情報の取り扱いなど講師を招いて学んでいる学校もある③サロン参加者の意向や運営代表者の負担への対応、未成年者の参加調整方法など課題はあるが、高齢者を対象としたeスポーツの実施方法を研究していく④地域団体が新たにeスポーツに取り組みたい場合、公民館に相談いただければ支援できる団体と橋渡しを行う。



若者や民間を巻き込んで世代間交流ツールにｅスポーツを

将来を見据えた持続可能な財政か？



（自民清流）平原（ひらばる） 嘉徳（よしのり） 17

問 ①佐賀県の総生産ＧＤＰは約３・４兆円であるが、本市のＧＤＰは②隣接する福岡市のＧＤＰは８兆２４００億円であるが、地理的メリットが本市の経済成長につながっていない。企業誘致など「佐賀と福岡の経済的な相互関係」をさらに強化すべきである。

答 ①直近の令和４年度の市内総生産は９６２０億９７００万円②福岡都市圏には多くの企業や大学、多様な人材、さらには大きな消費市場が集積している。そこに隣接していることは大きな地理的優位性の一つであり、さまざまな分野で大きな可能性につながる。その優位性を最大限に生かしながら、企業誘致や人材確保の取り組み、観光誘客や移住・定住の促進を通じた交流人口の拡大など、各種施策を戦略的に展開し、本市のさらなる魅力向上と地域経済の発展につなげていきたい。



佐賀市の将来を見据えた取り組みを！

環境にやさしいバイオマス産業都市



（自民さが）川副（かわそえ） 龍之介（りゅうのすけ） 18

問 ①２０１４年バイオマス産業都市に認定され、今「佐賀市グリーン化推進戦略」として展開している各事業の実績とグリーン化推進戦略の成果は②下水浄化センターでは汚泥量が増加し汚泥肥料の製造施設が限界を迎えている。施設の改善等や運用の見直しは。

答 ①令和７年度は、清掃工場では分離回収したCO_2を施設園芸等に約２３０トン供給。廃食用油のリサイクルでは高品質バイオディーゼル燃料を製造し市営バス等の燃料に約４万２千リットル利用。下水浄化センターでは下水汚泥を原料に肥料を約１３００トン生産等。現在、CO_2の付加価値向上に取り組み、民間企業と連携して液化も検討中②肥料としての利用を最優先とし、施設増設を含め最適な汚泥処理を検討するとともに、肥料販売に加え肥料製造会社への原料としての供給も進める。



住みやすい環境をいつまでも

中学校部活動、どう改革していくか



（自民市政会）山田（やまだ） 宏一郎（こういちろう） 19

問 市と市教育委員会から学校部活動および地域クラブ活動基本方針が出されたが①週の活動時間を国の目安より短くした理由は②地域クラブの指導者に競技以外の指導も求めるのか③地域移行が困難な可能性がある場合は移行期間を延ばすなど措置をとるのか。

答 ①生徒の生活実態や意識調査の結果を重視し、成長期にある生徒が学校内外の活動、休養などバランスが取れた生活を送れるよう生徒の負担や健康に配慮したため②競技や技術向上のみに偏ることなく、生徒が安全、安心な環境の下で主体的に部活に取り組めるよう支援し、生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむための基礎を育む役割も担うこととしている③急激な移行ではなく、令和10年度までの取り組み状況などを確認し、必要に応じて基本方針を見直しながら進めていく。



中学校部活動は今後どう変わるのか

元気なうちから将来への備えを！



（公明党）中島（なかしま） 妙子（たえこ） 20

問 「あんしんノート」は、これまでの人生を振り返り、これからの暮らしやもしもに備えるためのノートである。心身ともに元気なうちから存在を知り、必要と感じた時に手に取れるよう、より多くの市民に知っていただき、有効に活用するための今後の取り組みは。

答 「あんしんノート」について、より早い時期からその存在や趣旨を知っていただくことは大切であると認識している。市報やホームページで、具体的な活用事例や写真を掲載するなど、分かりやすい広報に取り組むとともに、市内の図書館など新たな配置場所も検討している。また、介護サービスに関する相談でおたっしゃ本舗を訪れた現役世代への紹介や、これまでより幅広い世代を対象とした講座なども検討し、もしもの時に備えるきっかけとなるよう、普及啓発に取り組みたい。



あんしんノートをもっと身近に！

原爆投下日のサイレンは必要！



（自民市政会）
重田（しげた） 音彦（なるひこ） 21

問 今年の広島、長崎への原爆投下時刻のサイレンが所によっては鳴らなかったと市民から指摘されたがその理由は。戦争や原爆投下の記憶が風化しつつある現在だからこそ必ず鳴らすべきだと考える。来年以降の取り組みについて問う。

答 本市では、該当する日時に防災行政無線を活用した黙とう放送を実施してきたが、生活に影響がある、突然の大きな音に驚くなどのご意見が寄せられていたため、放送の在り方を検討するための試みとして、各支所管内において全ての子局による放送から、各支所に設置した子局での放送に変更したところである。今後は、今回の試行結果や寄せられたご意見を踏まえ、黙とうの機会を広く市民の皆様にお届けできる方法について検討を深めながら実施していきたいと考えている。



防災行政無線

松原公園を市のランドマークに！



（自民市政会）
諸冨（もろどみ） 八千代（やちよ） 22

問 昨年3月に基本構想が示された松原公園整備について①進捗状況は②担当部署が経済部に変わった狙いは③徴古館は佐賀の重要な文化施設だと考えるが、市の考えは④令和9年に徴古館開館100年、令和15年には佐嘉神社も創建100年を迎える。どう進めるか。

答 ①松原エリアが歴史・文化の発信拠点機能の役割を果たすため、土地所有者との協議を進めているところである②本市の歴史・文化の価値を生かし、観光施策などと一体的に展開することで、地域経済の活性化につなげていきたい狙いがある③松原公園において、核となる施設であると考えている④それぞれ記念となる事業を検討されていると伺っている。まずは、徴古館100周年記念プレ企画展「佐賀のたから」を鍋島報效会と共催し、歴史・文化の発信に取り組んでいきたい。



10月10日から12月20日まで開催される「佐賀のたから」展

災害時、誰もが安心できる備えを！



（ネットワーク佐賀）
草場（くさば） 健次（けんじ） 23

問 災害時の備えを問う。①避難所に行けない自宅や車中泊の方へ確実に支援物資を届ける輸送ルートの確保②スマホなどへ市から直接、命を守る情報を届ける仕組み③地域の助け合いの要である自主防災組織の連携強化について、市の見解を求める。

答 ①被災者への物資支援の在り方については、今後の国や専門機関等による検証結果を参考に、宅配業者等と協議を行い、研究していきたい②公式スーパーアプリで災害および避難情報を発信。また、防災行政無線やさがん電話等さまざまな手段を用いて情報発信に努めている③防災業務専門支援員を配置し、相談時に他の自主防災組織の活動事例を紹介するなど情報提供や共有に努めている。今後も地域の実情に応じた防災活動のため、自主防災組織の連携を支援していきたい。



在宅避難者へ確実に物資を届けるルートの確保を！

登下校時の熱中症対策を



（自民さが）
稲葉（いなば） 嵩広（たかひろ） 24

問 猛暑が続く中、児童の登下校時の熱中症対策は重要性を増している。市が冷却用品の活用を推奨するのであれば、下校時にも有効に使用できる環境を整える必要がある。学校への冷凍庫設置など、モデル校で効果や管理方法を検証しては。

答 冷凍庫の設置場所確保や冷却用品の管理、衛生面への配慮、児童への返却方法、教職員の管理体制など整理すべき課題がある。また、児童数や施設の状況、通学距離や通学環境など、各学校に応じた対応を検討する必要がある。今年度から一部の小学校で既存の冷凍庫等を活用する取り組みを行っており、その利用状況や運用状況とともに、他自治体の事例も確認し参考としている。これまでもさまざまな熱中症対策を行ってきたが、冷凍庫の設置も含め、さらなる対応を検討したい。



子どもたちの登下校にも暑さ対策を！

通所型サービスCの利用促進を



（自民さが）
宮崎 健（みやざき たけし）

25

問 ①通所型サービスCについて本市の見解は②本市の利用状況について③鳥栖地区広域市町村圏組合では盛んに利用されているが見解を④今後本市においても鳥栖地区のように予防の観点から取り組めないか⑤本市の利用促進はどうするのか。

答 ①入院などで生活機能が低下した方などが短期間で回復・改善を図り、自立した日常生活を取り戻すための取り組み②利用状況は少なく課題と認識③本市の対象者や支援内容との違いなど、他市の状況を確認したい④まず本事業を利用し、回復・改善状況に応じて介護予防事業に引き続き参加し、生活機能の維持などに取り組んでほしい⑤利用者と事業者の両面から必要な方の利用につながる体制づくりを進め、自立した日常生活を取り戻せるよう本事業の利用促進に取り組んでいく。



病後の対策か事前予防か
考え方はさまざまだが

今宿ポンプ場の整備について問う



（自民さが）
西岡 義広（にしおか よしひろ）

26

問 ①令和元年8月豪雨、令和3年8月豪雨で八田江川と佐賀江川に挟まれたエリア周辺で発生した床上・床下浸水の被害件数は②多額の公費を投じて建設される今宿ポンプ場の稼働により、どの町のどの流域エリアで浸水被害がどの程度軽減される見込みなのか。

答 ①令和元年豪雨では、床上浸水が587件、床下浸水が559件②今宿町の安住団地自治会などの周辺区域は、満潮時等で自然排水が困難な場合も八田江川へ強制排水が可能となり、排水能力が大幅に向上する。これにより上流の水ケ江や城内地区をはじめ、市街地南東部の広範囲で水位が低下し浸水被害を軽減できる。多様な降雨にも本ポンプで確実に対応し、事前排水も含め被害軽減に努めていく。



ポンプ場の稼働により、
水害リスクの軽減に期待

家庭に眠る「油田」を資源に



（自民市政会）
山崎 純（やまさき じゅん）

27

問 ①家庭に眠る廃食用油を「家庭油田」と捉え、回収をさらに進められないか②子どもの学びを家庭での回収行動につなげる環境教育ができないか③廃食用油の回収・再利用の成果を見える化できないか。

答 ①廃食用油を安定的に回収するため、ごみカレンダー分別表やホームページへの記載、SNS動画広告、佐賀環境パネル展での展示などの周知啓発に取り組んでいる②小学4年生に環境教育を行っており、子どもの学びを通じて家庭での実践のきっかけになると考える③市民がリサイクルの成果を実感できるよう、回収ボックスの周辺にリサイクルの状況を掲示することで見える化を進め、さらなる回収につなげていきたい。



廃食用油はこの回収箱へ
（スーパーや公民館などにあります）

持続可能な地域公共交通の確保を！



（ネットワーク佐賀）
徳永 文子（とくなが ふみこ）

28

問 ①公共交通空白地域などで導入されているコミュニティ交通を、将来にわたって持続可能なものにするために、市として今後どのように取り組むのか②深刻な運転士不足が叫ばれる昨今、計画的な運転士の育成・確保のために市が取り組んでいることは。

答 ①地域の実情や移動ニーズを踏まえ、路線バスとコミュニティ交通を一体的に捉えて、それぞれの地域に適した交通の在り方を検討し、地域ごとの改善案の実証を順次進めたい②大型二種免許がなくても優秀な人材を採用し、免許の取得を費用面で支援している。また、職場見学や個別相談会を随時実施し、女性には女性運転士と面談する機会を設け、業務への理解を深めてもらい、就業への不安や悩みの解消にも努めている。さらに、令和7年度から高校新卒者の募集も開始した。



ノンステップバスの導入
100%

委員会活動リポート

特別委員会等は、市民生活に深く関わる課題などについて会期中以外にも調査・研究を行っています。最近の活動内容を紹介します。

佐賀駐屯地対策協議会

行政視察

7月8日(水)　岐阜県各務原市

●自衛隊施設との連携および基地対策と地域振興策について

7月9日(木)　岐阜基地(岐阜県各務原市)

●地域住民および近隣自治体との関わりについて



各務原市役所

北部山間地域の活性化に関する調査特別委員会

行政視察

7月15日(水)　岡山県西粟倉村

●百年の森林構想について



西粟倉村役場

7月16日(木)　(一社)三豊市観光交流局(香川県三豊市)

●SNS を活用した情報発信やオーバーツーリズム対策、官民一体となった地域活性化などについて



三豊市観光交流局

議会運営等改革検討会

行政視察

7月22日(水)　埼玉県日高市

●日高市議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドラインについて



日高市役所

7月23日(木)　東京都立川市

●立川市議会議員政治倫理条例の改正について



立川市役所

請願・陳情の提出について

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

詳しくは、こちら➡

請願
- ▶提出に当たっては、議員の紹介が必要です。
- ▶議会でその内容を審議の上、採択・不採択を議決し、採択されたものは市長等へ送付します。

陳情
- ▶提出に当たって議員の紹介は不要です。
- ▶写しを全議員へ配布し、その後の取り扱いについては個々の議員の判断に委ねています。

議会トピックス

議員研修を開催しました

市議会では、議会・議員の公務活動に資する知識の習得や情報の収集等を目的とする研修を年に２回開催しています。

１回目の研修会を以下のとおり行いました。
開催日：令和８年７月10日（金）
講　師：川本 達志先生（元廿日市市副市長）
内　容：「役所を動かす一般質問の在り方」
- 一般質問の位置づけと役割
- 一般質問で成果を上げる構造、準備
- 一般質問を政策実現につなげる使い方
- 一般質問にかかる執行部との調整法



議長の主な活動

令和８年６月30日の６月定例会閉会日から９月定例会までの議長の主な活動を紹介します。

７月１日（水）	全国市議会議長会第249回部会長会議・第245回理事会（東京都千代田区）
７月24日(金)	県内市議会議員研修会（鹿島市生涯学習センターエイブル）
８月15日(土)	佐賀縣護國神社「戦没者追悼平和祈念祭」（佐賀縣護國神社）
８月25日(火)	第44回全国都市緑化フェアfromSAGA実行委員会設立総会（ホテルマリターレ創世）



県内市議会議員研修会（鹿島市）

議場見学に来てくれました！

７月３日（金）に開成小学校６年生の皆さんが議場の見学に来てくれました。

当日は市議会について説明を受けた後、クラスごとに分かれて議場やモニター室の見学や選挙について学びました。

また、議場では模擬議会を体験し、普段はなかなか入ることができない議場に子どもたちは興味津々の様子でした。


議場で説明を受ける様子

聴かせてください

あなたの声



川副町在住
しもむら りつこ
下村 律子さん

佐賀市のここが好き

日々の暮らしの中で、緑豊かな自然があり四季折々の風景が近くに感じられるところが好きです。

佐賀市に望むこと

私の住む地域は高齢化率も高く、病院や薬局がなく交通も不便で、日常的な通院・買物困難者も多く生活に不安を感じています。

すべての住民が安全で安心して暮らせるような市政をお願いします。

私からのメッセージ

住民みんなが元気で支え合い・助け合いながら、私の手仕事で人と人とのつながりを大切にしたいと思っています。

どんな活動をされていますか？

東日本大震災から15年。毎年ハンドメイドで作ったひな人形を200から300体程と小物入れ等を、気仙沼復興ボランティア支援団体ドリームクラブの活動に支援することで、友情という花が咲き多くの被災者の方々の心を温かく包み励ますことが出来ればと続けています。

多くの支援を頂きながら、現在は校区社協理事、高齢者サロン代表、また佐賀市徐福長寿館において年間を通して日本文化の五節句作品展を開催しています。

新有権者の声



久留米大学
いしばし そういちろう
石橋 聡一郎さん

大学生活で力を入れていること

特に「徹底した自己管理」と「主体的な社会参加」に力を入れて取り組んでいます。地域の子ども食堂のボランティア等に参加し、世代を超えたコミュニケーションや社会課題への理解を深めています。これからも主体的に行動し、社会に貢献できる人を目指します。

佐賀市の良いところと課題

自然豊かで緑が多く落ち着いていて住みやすいところや、福岡など都市部へのアクセスが良いこともメリットの一つです。一方で観光地としての魅力発信が届いておらず、訪れづらさがある点や佐賀駅周辺において若者や観光客を呼び込む魅力的な施設・空間が不足している点が課題と考えます。

選挙で投票先を決める判断基準

選挙ポスターなどを見て、自分が興味のある内容の公約を掲げている人を投票先の候補に入れています。今後の佐賀市のことについてしっかり考え、具体的な政策を示している人に投票したいと思っています。

将来について

将来は、佐賀の地域活性化に携われる仕事に就きたいと考えています。自分の強みを活かしながら、地元をよりよくするために自分にできることを見つけ、これからの佐賀を支える若い世代の一人として主体的に地域に関わっていきたいです。

取材：令和8年9月　西岡副委員長、中尾委員、岡山委員

編集後記

令和８年熊本地震や令和８年８月千葉豪雨など、各地で甚大な自然災害が相次いでいます。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。地域で多くの方とお話しする中で、日頃の備えや人とのつながりの大切さを改めて感じています。佐賀市議会としても、市民の皆さまの声を受け止め、安心して暮らせるまちづくりにつなげていかなければなりません。「さが市議会だより」が、議会をより身近に感じていただくきっかけとなるよう、これからも分かりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。　（吉川正剛）

12月定例会のお知らせ

12月1日（火）午前10時開会（予定）

会期日程等については、開会日に正式決定しホームページでお知らせします。

市議会ホームページのご案内

佐賀市議会ホームページでは、議会に関する情報を随時更新しています。

本会議の動画配信

本会議中には生中継で、過去の本会議は録画中継でご覧いただけます。
本会議はぶんぶんＴＶでも生放送しています。

会議録の検索

平成２年以降の本会議および平成21年以降の常任委員会の会議録を掲載しています。



その他、**会期日程**や**議員名簿**、議会だよりのPDF版なども掲載しています。

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
UD FONT by MORISAWA

さが市議会だより Vol.96
令和8年11月15日発行
発　行　佐賀市議会　　編　集　議会広報広聴委員会
〒840-8501　佐賀市栄町1-1　電話0952-40-7311
この冊子は1部あたり20.5円で制作してしています。(ただし人件費など間接経費は含まれていません。)